令和 7 年度　第 3 回日本遺産「桑都物語」推進協議会　総会 議事録

日時:令和 8 年（2026 年）3 月 25 日（水）17:00～18:20

会場: 八王子市保健所　会議室

※特記のない限り日本遺産「桑都物語」推進協議会の名称は「協議会」と表記する。

１　開会

【名誉会長】

・ 1 月 23 日開催の第 2 回総会において、皆様に審議いただいた内容を基に、次期「日本遺産を通じた地域活性化計画」を策定し、「総括評価・継続審査」に関する書類を文化庁に提出した。
・ 協議会では、八王子市が舞台のアニメの聖地巡礼マップを制作し、配布を開始した。制作・配布にあたっては協議会の皆様にもご協力いただき感謝する。また、本作品と八王子市が「訪れたい日本のアニメ聖地 88」に選定されたところである。
・ アニメファンが聖地巡礼を目的に八王子市へ訪れている様子は SNS 等で確認することができ、アニメコンテンツの影響力を改めて実感したところである。八王子市では、令和 8 年度に「アニメを活用した誘客促進事業」を予定しており、日本遺産構成文化財等への周遊につながる取組を行っていく。
・ 文化庁からの審査結果は 8 月頃公表と聞いている。引き続き八王子市が都内唯一の日本遺産認定都市として、日本遺産「桑都物語」を活用した市内の賑わいの創出につながっていくことを期待している。

【会長】

・ 年度末のお忙しい中、総会に出席いただき感謝する。
・ 日本遺産を活用して八王子を更に栄えさせることが課題。八王子商工会議所では、先端産業を中心に更に「ものづくり」を深掘りできれば良いと考えている。
・ もう一つは観光産業。政府も様々な施策を講じる中で、ものづくりについてはＢｔｏＢに対する制度はあるが、ＢｔｏＣの三次産業については処方箋がないことを考えると、我々の役割は、個人事業主が栄えていくよう、まちの人流を増やしていくように支援することだと考えている。
・ 八王子商工会議所では、日本遺産を観光産業という視点で、皆さんのお力添えをいただきながら事業を進めていきたいと考えている。

２　総会の成立

出席者数が過半数を超えているため、本会は有効に成立する。

・ 出席者数：20 名
・ 欠席者：2 名

３　議事

第１号議案　日本遺産「桑都物語」推進協議会協議会規約の改訂について

資料に関して事務局より説明。

・ 協議会を構成する団体組織については、協議会規約第４条に定めているが、新たに株式会社ジェイコム東京と一般財団法人八王子市まちづくり公社を追加するもの。
・ ジェイコム東京は、令和２年の日本遺産認定以降、地域に根付いたマスメディアとして、協議会の様々な取組について取り上げていただいており、日本遺産「桑都物語」の普及啓発に多大な貢献をいただいている。また、令和７年９月に、親会社のジェイコム株式会社がケーブルテレビ事業者として初めて、文化庁と日本遺産オフィシャルパートナーシップを締結している。
・ 八王子市まちづくり公社は、令和２年から「まちなか休憩所　八王子宿」、令和４年から「桑都テラス」を運営しており、両施設において八王子車人形をはじめとする伝統芸能の魅力を発信するイベントなどを多数実施しており、中心市街地における桑都文化の魅力発信の拠点施設となることが期待される。
・ 以上２者の加入により、次期日本遺産地域活性化計画における「桑都物語」のプロモーションとまちづくりの更なる活性化を図るものである。

【会長】

本件について、意見や質問等あるか。

→意見等なし

それでは、それぞれ挨拶をお願いしたい。

【委員】

・ ご案内のとおり、私たちは「まちなか休憩所」と「桑都テラス」を運営している。今後も両施設の更なる充実に向け、皆様からのアイデアを取り入れていきながら、日本遺産「桑都物語」の魅力発信・普及啓発に貢献したい。

【代理】

・ 地元メディアとして、長年、地域の魅力を発信してきたが、今後も地域に愛され続けるケーブルメディア・テレビとして、より一層情報発信に努めていく。地域の課題解決に役立つようなアイデアも出しながら、日本遺産の盛り上げに貢献していきたい。

第 2 号議案　令和 8 年度事業計画（案）について

第 3 号議案　令和 8 年度収支予算（案）について

【会長】

第 2 号議案及び第 3 号議案について、それぞれ関連するため、一括して事務局より説明をお願いする。

資料に関して事務局より説明。

令和 8 年度事業計画（案）

- 次期地域活性化計画では、地域住民・来訪者・民間事業者の 3 者が、日本遺産「桑都物語」の活用によって生まれる新たな価値に触れ、「郷土愛の醸成」「関係人口の増加」「地域経済の活性化」につなげていくことで、地域経済と文化継承が両立する持続可能なまちを将来像として掲げている。
- 「知る・理解する」→「関係をつくる」→「新たな価値を創る」の連鎖が形成される仕組み（スパイラルモデル）を目指す。また、令和 8 年 10 月にオープンする「桑都の杜」を起点とした体験周遊事業のほか、人材育成、民間事業者による商品創出などの 5 つのコア事業を設定している。
  コア事業①：「桑都の杜」を起点とした体験・周遊事業
  コア事業②：異分野を「入口」とした普及啓発・関係人口創出事業
  コア事業③：多言語対応ガイド人材等の「桑都物語」人材育成事業
  コア事業④：民間事業者による商品・サービス・体験創出支援事業
  コア事業⑤：地域ブランド「桑都物語」の編集統合・発信事業
- 実施体制について、それぞれの役割に応じた部会の設置や、民間事業者によるコミュニティを組織し、共創による新たな事業の創出などを図るほか、構成文化財の保持者などの担い手のコミュニティの形成することで、日本遺産の推進体制を更に強化していく。

令和 8 年度収支予算（案）

- 令和 8 年度予算について、令和 7 年度から 30,905 千円減の 42,198 千円となる。地域活性化計画に基づく各事業のほか、日本博事業により文化観光の振興につながる取組を推進する。
- 物販会計について、引き続き、イベント出展時のＰＲグッズの販売や、市内アンテナショップにおける桑都物語関連グッズの販売などにより、協議会の自主財源の確保に努めていく。
- なお、第 2 号・第 3 号議案については、八王子市議会において、令和 8 年度歳入・歳出予算が可決された場合において確定する。

【会長】

・　事業計画等について説明したが、委員の皆様にはそれぞれ担当分野があると思うため、日本遺産に関する取組などをお話いただきたい。

【委員】

・ 3月8日に、構成文化財の一つである火渡り祭が盛大に執り行われた。日本遺産「桑都物語」推進協議会の皆様に多大なるお力添えをいただき、多くの方々をお招きすることができた。今年は火を渡る方が約2,000人で2時間近くお参りをされていた。これもひとえに日本遺産の影響も大きいのではと肌で感じた次第である。
・ 総括評価・継続審査について、地元の商店・飲食店の皆様から分からないところがあると伺っている。6～7月には、商店会・料飲組合の皆様と会合する機会もあるため、日本遺産の取組やストーリーについて改めて説明する機会を設ける予定である。

【委員】

・ 3月の八王子支社の近距離・中距離の移動は、前年度を上回ると予想している。3連休が天候に恵まれたことも影響が大きく、特に近距離の移動が多いと考えている。
・ 一方で、インバウンドをまだ十分に取り込めていない点が課題でもある。佐藤委員からお話のあった火渡り祭など、日本人とは異なる点で興味を持つ観光客は多い。
・ 弊社青梅線沿いの御嶽神社には、若い方が初詣ではなく、初日の出を見るイベントのような感覚で訪れるなど、新しい行動形態も出てきているとの話も聞いている。既成概念にとらわれない観光行動にも対応していく必要があると考えている。
・ 今後も協議会の皆様と情報交換などを行いながら、新しい層の行動パターンも取り入れていけたらと考えている。

【委員】

・ 名誉会長の挨拶にもあったアニメについては、我々も協力しているところである。
・ 若年層の方にどのような方法で来てもらうかは弊社としても大きな課題であり、やはり若年層だと、ＳＮＳやソーシャルメディアに強いため、様々な媒体を活用しながら、多くの方に八王子をまずは知ってもらうことが重要だと考えている。
・ 継続審査・総括評価については、当然認定が継続されると思っているが、持続的なＰＲが大事であるため、引き続き皆様と協力しながら進めていきたい。

【委員】

・ 弊社の駅もアニメの聖地になっているが、現在、別作品のコラボイベントにおいても協力しており、それを目当てに多くのお客様が訪れている状況である。
・ 弊社は「観光・物産部会」に属しており、高尾山での飲食の提供など最前線でお客様と接しているため、そのような知見を活かしながら貢献していきたいと考えている。

【委員】

・ 文化財の活用が日本遺産のコアであると考えるが、他地域の事例では文化財を活用すればするほど消費されてしまう傾向にあるため、新しい視点、新しい発見が必要になる。
・ 「文化財・教育・人材育成部会」の役割に、「文化財の調査・研究」が含まれていることは非常に心強い。何を調査・研究するかは、文化財課を中心に八王子の歴史を長年担ってきた学芸員などの人材を活用していくことが重要。文化財の調査は非常に時間とお金がかかる。文化財は放っておけば消滅してしまうものでもあるため、これを機にぜひ目を向けていただきたい。
・ 人材育成に関しては、まずは八王子の歴史などに精通している人材を選定し、その上で人材を育成していくことが重要である。

【委員】

・ これまでは「桑都テラス」と「まちなか休憩所」を活用して日本遺産を推進してきたが、施設の中での魅力発信だけでは限界があるため、現在、周辺の店舗などと連携して取り組んでいけないかリサーチを行っている。
・ 施設だけではなく地域一体で取り組んでいくことができれば、提案にもあったインバウンドの展開にもつながっていくのではないかと考えている。

【委員】

・ 八王子青年会議所では、市内で青少年育成事業、青少年の健全な育成に取り組んでいる。
・ 八王子森林パトロール隊が今年で 59 年目を迎えるが、高尾山を中心に清掃活動などに取り組んでいる。
・ 日本遺産の認定ストーリーは子どもたちにとっても誇りであり、青年会議所としても八王子の郷土愛を育んでいくような取組を行っていきたい。
・ また、青年会議所は全国組織であるため、各種会議において、全国から八王子に集まる機会もある。その際には、必ず日本遺産認定ストーリーを説明しているところである。

【代理】

・ 先ほど説明のあったとおり、弊社親会社のジェイコム株式会社が文化庁の日本遺産オフィシャルパートナーとなったことを機に、八王子市内においてウォーキングイベントの開催を検討している。今までにないルートの設定や、今後の周遊事業の参考となるような形で事業を実施できればと考えているため、まずはそこから日本遺産の事業に携わっていきたい。

【委員】

・ 八王子市内の店舗と本部が一体となって、日本遺産「桑都物語」を盛り上げていきたいと考えている。
・ 八王子を中心に多摩地域全体の観光を大事にしていきたいと考えており、東京観光財団と多摩信用金庫が主催で、一般企業を対象としたインバウンド対策のセミナーを開催した。その中で、インバウンドが観光に訪れる際、約 8 割の方が旅行の行程を決めているというデータがある。その点でＳＮＳの活用が重要であるといった話があった。
・ ＳＮＳにも様々な媒体があるが、旅行をする方はインスタグラムを見て旅行先を決めることが多いという話もあった。インスタグラムを中心としたＳＮＳ戦略も、日本遺産と観光を盛り上げていくうえでは重要であることを再認識したところである。

【委員】

・ 織物工業組合では、手織り教室を開催しており、多くの方に体験していただいているが、今まで八王子には織物の資料館のようなものがなく、他地域では立派な資料館があり、本年度予算では、織物資料館をこしらえようということで検討を進めているところである。
・ 組合では織物に関する資料を多く保有しているため、それらを皆様に見ていただけるような機会を創出していきたいと考えている。

【委員】

・ 当財団の活動目的の中に「芸術文化の振興」を目的に、年間を通して、クラシック、ジャズ、コンサートなど様々なイベントを開催しているが、八王子の伝統芸能に関わることも多い。例えば、伝統芸能体験教室、講座、成果発表会など、市民の方にも伝統文化に触れていただく機会も創出している。
・ また、5 月には「伝承のたまてばこ」を毎年開催しており、八王子の伝統芸能をはじめ、多摩地域の伝統芸能を活用したイベントを盛大に行うことを予定している。昨年はいちょうホールのリニューアルオープンにあわせて、ホール管内で実施したが、今年はこれまで通り屋外で盛大に開催したいと考えているため、ぜひご期待いただきたい。

【委員】

・ 八王子市では、毎年、市政世論調査を実施しているが、市民の日本遺産に対する認知度が約 66％であり、昨年から約 15％上昇している。これは協議会の皆様が日頃から日本遺産の発信に取り組んでいただいていることが、結果に現れたのではないかと考えている。この場をお借りして感謝する。
・ 令和 8 年度の事業計画の中に食関連ブランドの構築を盛り込んでいる。先日、八王子を愛して止まないという方と話をする機会があり、その時に八王子の手土産が少ないといった意見をいただいた。八王子には既に日本遺産を絡めた商品（和菓子な

ど）はあるが、日本遺産のロゴマークを使用した外装や包装紙に統一したものを製作するといったこともアドバイスいただいたため、検討を進めていきたい。
・ このような取組を通じて、日本遺産の認知度を 100％に近づけていければと考えているため、ぜひ皆様のアドバイスをいただきながら、様々な取組を進めていきたいと考えている。

【委員】

・ 協議会の皆様から、様々なご意見を伺い、大変心強く感じている。八王子市としても、協議会の皆様が活動しやすいよう、環境整備や実施体制、その他様々な団体の方に日本遺産に関わっていただいている。その方々の活動をＰＲして、30 の構成文化財、そして近隣の地域を巻き込んで、日本遺産を盛り上げていきたいと考えているため、引き続きご協力をお願いしたい。

【会長】

・ 日本遺産に関するご意見をいただき感謝する。その他、質問や意見等はあるか。

【委員】

・ 先ほどウォーキングイベントの話があったが、弊社でも「駅からハイキング」という企画を継続して実施しているところである。八王子駅の社員が中心となって毎年コースを設定しているが、それぞれがイベントを開催するよりも連携して実施した方が認知度も上がると思うため、ぜひコラボなども検討いただければと思う。

【代理】

・ イベントを通じて日本遺産の認知度をしっかりと上げていくことが必要だと考えている。八王子だけでなく広い範囲で参加者も募集したいと考えているため、協力・協働できるところがあれば、ぜひ話を進めていきたいと思う。

【会長】

・ 多摩には 7 つの商工会議所（武蔵野、立川、青梅、府中、八王子、町田、多摩）があるが、その他は商工会連合会を組織している。商工会連合会には専門理事が連合会に属しており、情報の共有が早い。多摩の観光となると高尾山はあまり出てこず、西多摩エリアになりがちである。観光という視点では我々もまだまだ努力していかなくてはならない。
・ お土産について、こちらも事務局と意見交換をしている。桑のお茶があるが、健康効果も絡めて日本遺産をＰＲしていけると良い。ぜひ協力いただきたい。

【会長】

・　他には意見等ないか。

【会長】

・　それでは、第2号・第3号議案について、承認するものとしてよろしいか。
　⇒拍手で承認

報告事項　令和7年度日本遺産推進事業の進捗について

【事務局】

・　令和7年度は、人材育成、普及啓発、調査研究等の事業のほか、文化庁「日本博2.0」事業を活用し、事業を進めてきた。
・　アニメコンテンツの活用に関する調査研究について、昨年4月に放送されたアニメとのコラボレーションにより、観光案内所やアニメで登場した店舗などで聖地巡礼マップを配布するとともに、道の駅八王子滝山には等身大パネルを設置したことで、日本遺産「桑都物語」の認知度向上と市内の回遊性の創出につながっている。
・　日本博2.0について、構成文化財である高尾山における山岳信仰や自然といった文化的な魅力の発信や消費単価の向上、更には年間を通じた観光客数の平準化を目的に、大きく3つの取組を実施した。
　取組①：【体験の高付加価値化】高尾山オーディオガイドサービスの展開
　取組②：【体験の高付加価値化】薬王院における護摩修行と精進料理のセットプランの造成
　取組③：【プロモーション】高尾山のＰＲ映像の制作と発信、インバウンドウェブメディアやＳＮＳによる情報発信
・　3月末をもって「桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）」が閉館する。最後の企画展として、現在「昭和100歳、八王子の今と昔」を開催している。残り少ない日数ではあるが、ぜひお越しいただきたい。はちはくは令和3年6月に開館し、約4年9か月、多くの皆様にご来館をいただき、感謝申し上げる。
・　令和8年10月には、八王子南口集いの拠点「桑都の杜」が誕生する。その中に、八王子歴史・郷土ミュージアムがオープンする。常設展示室では八王子の歴史に関する貴重な展示を、特別展示室においてはテーマ性を持った企画展が行われるため、皆様のお越しをお待ちしている。

報告事項　令和7年度日本遺産連盟総会について

【事務局】

・　10月25日に岡山県倉敷市で開催され、令和6年度は当協議会が会計監査を担っていたため、総会において会計監査報告を行った。
・　令和8年度は、日本遺産南国宮崎の古墳景観活用協議会が会長となる。

・　令和 8 年度の事業計画として、「日本遺産フェスティバルｉｎ南国宮崎」と題し、11 月 7 日から 8 日の 2 日間、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催を予定。

報告事項　日本遺産総括評価・継続審査に向けた申請の提出について

【事務局】

・　第 2 回総会において審議した内容を反映し、3 月 13 日に文化庁に提出している。主な変更点としては、文化庁からの通知により、地域活性化計画について計画期間を 4 か年とする指示があったため、令和 8 年度から令和 11 年度までの計画期間に変更し、目標値やＫＰＩを追加設定した。
・　審査評価委員会の現地調査とヒアリングについては 5 月から 6 月に実施すると連絡がきている。ヒアリングについては協議会の構成団体の皆様にも出席いただくことが想定される。文化庁から詳細の連絡があり次第、改めて連絡するため、ご協力をいただきたい。なお、審査結果の公表は 8 月を予定している。

【会長】

・　報告事項について、質問等あるか。
　⇒質問等なし
・　それでは、最後に副会長・監事にご挨拶いただきたい。

【副会長】

・　協議会のメンバーは、八王子を背負っている皆様の集まりである一方で、日本遺産そのものの知名度がまだまだ低いと認識している。これはストーリーを認定するという制度がわかりにくいということが課題であるため、ストーリーを活用して観光産業などにつなげていく、これが協議会の大きな課題の一つであると考えている。
・　先ほど話のあったアニメについては、八王子観光コンベンション協会では、企画から制作まで携わっていた。八王子の風景や飲食店、道の駅や東京都立大学などが綺麗に描かれており非常にインパクトがあった。
・　令和 8 年度事業計画の中に、短編動画制作が 750 万円計上されているが、アニメを活用して制作しストーリーを伝えることができれば、子どもたちの理解や認知度向上にもつながっていくのではないか。
・　会長からは繊維産業からものづくり、そして観光という話もあったことから、当協会のウエイトも高い位置にある。東京都で唯一の日本遺産の認定は大きな武器になるため、八王子の観光を盛り上げていきたい。

【監事】

- 八王子の文化と歴史を、八王子市内の多くの皆様に知っていただくことはもちろん、「日本」の遺産であるため、八王子だけでなく全国の皆様にも知っていただかなくてはならないと考えている。
- 市内では、年間を通じて様々な祭りやイベントを開催しているため、日本遺産のブースを出展するなど、ＰＲを行っていただきたい。
- ここでジェイコム東京が協議会に参画していただいたため、放送などにより定期的に日本遺産を発信していくことができれば認知度の向上につながるのではないかと考える。関係機関・団体の協力・協賛がまだまだ足りないのではないかと感じているため、我々も頑張らなくてはならない。
- 高尾山はミシュラン三ツ星に認定されていることもあり多くの人が知っているが、日本遺産の構成文化財は 30 件ある。八王子城跡や滝山城跡などもあるが、高尾山に肩を並べるような文化資源を我々で探し出し作りあげていかなくてはいけないと考えている。

【副会長】

- 「桑都物語」理解・共感スパイラルモデル（総会資料８ページ）について、「知る・理解する」→「関係を作る」→「新たな価値を作る」、これはまさに教育モデルでもある。子どもたちに対して、このような段階を踏んで指導していきたいと考えている。
- 日本遺産の認知度については、市内の小・中学校では授業で日本遺産に関する学習を取り入れていることから、知らない子どもはいない。郷土愛の醸成ができていれば、今の子どもたちが八王子市に住み続け、20 年後、30 年度に同様の調査をすれば 100％になる。そのような長いスパンで考えていくことも必要であると感じている。
- 未来を支える子どもたちをどう育てていくか、それが私たちの使命でもあるため、総会資料 11 ページにある動画制作や日本遺産検定など、知る・理解する機会を子どもたちに更に提供したいと考えており、ぜひ次のステップにつなげていきたい。
- 中学校では、現在、全国でキャリア教育を展開している。この八王子の日本遺産をどのように発信していけばいいのかというアイデアを授業の中で提案させて、コンテストや発表する機会をつくっていけたらと考えている。そのような機会を設けることができたら、ぜひ協議会の皆様にもお集まりいただいて聞いていただけるとありがたい。
- 今後とも、未来をつないでいく子どもたちを我々の側に引き入れて、子どもたちが日本遺産を大事に継承していく、そんな時代にしていけるよう私の立場からも考えていきたいと思う。

【会長】

- 挨拶いただき感謝する。
- それでは、最後に八王子商工会議所から甲府の公演について紹介させていただきたい。

【八王子商工会議所】

・　皆様にチラシを配付した「八王子芸妓甲府初公演」について説明させていただく。こちらは八王子の伝統芸能を広く知ってもらうため、八王子商工会議所が主催し、甲府商工会議所の協力も得て、甲府市内で公演を行うことを計画している。場所は甲府駅南口から徒歩で約 5 分、「小江戸甲府　花小路」という江戸の街並みを再現した場所があり、「こうふ亀屋座」という施設で、日本遺産構成文化財である八王子芸妓や八王子車人形による公演を行う。
・　本来であれば皆様にぜひご参加いただきたいと考えていたが、おかげさまで全席満席となったため、八王子商工会議所の取組の一つとして紹介させていただいた。

４　閉会

【事務局】

・　次回の総会は 6 月下旬または 7 月上旬を予定している。日時と場所については追って連絡する。

【会長】

・　本日は円滑な進行に協力いただき感謝する。これをもって令和 7 年度第 3 回日本遺産「桑都物語」推進協議会総会を閉会する。